

(有)漂流岡山

代表取締役

## 阿部憲三氏

Kenzou Abe

1967年、岡山市生まれ。生活協同組合に勤務後、1年半のバリ島暮らしを経て岡山で起業。社名の「漂流岡山」の「漂流」は、バリで始めたインターネットによるアジア雑貨販売の「漂流貿易」から取った。人生のターニングポイントとなったバリ時代を忘れないためでもあり、その意表をつく名が気に入っているためでもある。岡山県農場経営改善支援センター登録スペシャリスト。岡山県商工会連合会エクスパートバンク登録講師。

## Company Data

岡山県岡山市錦町1-8岡山県木材会館ビル3FC号

TEL 086-226-0503

http://www.hyouryuu.co.jp/

設立 2001年5月

資本金 300万円

従業員 5名

事業内容 岡山果物カタログ事業部(岡山県産農産物・加工品の販売、農業のIT化コンサルティング、インターネットを利用した通信販売、六次産業化コンサルティング)、hyouryuu design事業部(ホームページの企画・製作・維持管理業務、地域産品のパッケージ等の企画・デザイン)、漂流貿易事業部(輸入家具・輸入インテリア小物・輸入美術品・販売)

## 一生モノの言葉

「待てば海路の日よりあり」

Selection

01



”

岡山県産の

新鮮野菜・果物をプロデュース

先手必勝”

がモットー

バリ島での1年半が  
起業の原点

29歳まではふつうの会社員でした。父の突然の他界を機に「死」というものに直面し、「本当に生きるとは何か」と考え始めました。すると、今までは当たり前だった生活が味気ないものに思えてしまい、妻と二人でインドネシアのバリ島へ移住しました。人脈があるわけでもなく、

仕事の当てがあるわけでもなく。オートバイが好きで、自然が好きというただそれだけの理由でした。

ところが、いくら地上の樂園であっても、ずっと住んでいくと退屈してくるものです。「何もしない生活」に飽きてしまいました。では、何ができるのかと、いつても、できそうなことはほとんどありません。そこで始めたのが、インターネットを使ったアジア雑貨販売でした。バリの

ような辺りな場所でも、インターネットさえあればビジネスはできるということ、身をもって体験しました。この時、気づいた「ネットというツール」が起業の原点です。また、バリ島への移住は、一度私の人生をリセットしたようなものですから、まったくゼロからのスタートとなりました。この経験が「何もなくてもなんとかなるさ」という強靭な意志を与えてくれました。

海外にいと、逆に  
「日本」「岡山」を意識する

海外で生活して一番変わったことは、自分が日本人であること、岡山県人であることを強く意識するようになったことです。このままバリでの暮らしと暮らすのではなく、故郷の岡山で何かやりたい、そんな気持ちが強くなりました。手始めに、ネットを使った岡山県産の高級果物販売を始めました。ここでこだわったのは、「自分たちが本当においしいと思えるものを、一番いい状態でお客様に届ける」ということです。始めた当時はネット販売の走りでしたので、おかげさまで反響は上々でした。私の戦略として、私のように資本も人脈も小さな会社が成功するには、なんでも「最初にやる」ことしかないと思っています。いわゆる先手必勝です。人と同じことをやっていたのでは、大企業に淘汰されるからです。こうしてネットの高級果物販売をなんとか定着させることができました。今、力



を入れているのは「野菜・果物販売のプロデュース」です。これは、量販店が求めている野菜・果物を私の会社が農家から仕入れてきて、売るための様々な仕掛けのアイデアを提供するというものです。従来の問屋と違うのは、ただ要求された量と質のものを仕入れて納入するだけでなく、キャッチコピーや袋のデザイン、POPなど、アピールするためのアイデアをこちらがプロデュースすることです。つまり、工業製品なら当たり前のように行われているマーケティング、商品の質の向上や管理、パッケージデザイン、イベントなどのセールスプロモーションを農作物でもやりますということなのです。だから、私は農家の方々には「1円でも高く売るように努力して、仕入れ値を1円でも上げます」と、いつも話しています。もう値段で勝負する時代は終わったというのが持論です。

農作物でも、有機栽培などのこだわりの栽培法、生産者が誰かが明確にわかる安心感、今朝畑で採れた新鮮なものであるなど、差別化できる要素はたくさんあります。そうした「こだわり」を上手くアピールすれば、消費者だつてきつとわかってくれます。今までは「食べてみればわかる」「一生懸命作りました」といったような、一元的な生産者の情報しかなかったために、消費者が選ぶ基準がなかっただけです。だから、岡山県産の新鮮な野菜・果物を安心して買える情報作りが私の仕事だと思っています。